

とり な ごえ き 鳥の鳴き声を聞いてみよう



鳥の鳴き声には、大きく分けて「さえずり」と「地鳴き」の二種類があります。オスがメスにアピールする時や、他のオスに向けての縄張り宣言の意味を込めて声高く鳴くのが「さえずり」で、それ以外の鳴き声が「地鳴き」です。春先に、「ホーホケキョ！」（さえずり）と鳴くことで知られているウグイスも、他の時期は「チャツ・チャツ・・・」（地鳴き）と地味な声で鳴いています。今回は身近な鳥の鳴き声について紹介します。



▲ウグイスは鳴き声の特徴的



ホオジロ

さえずり

チョピチュ ピ
ーチュチュチュ

地鳴き

ツツチツ
チー



ヤマガラ

さえずり

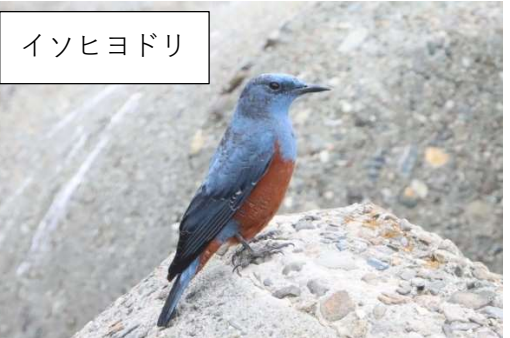
ツツピーツツピ
ーチチチ

地鳴き

ニーニーニー
ジージー

スズメより一回り大きい。木のてっぺんや電柱の上から、胸を張ってさえずりを行う姿が特徴的です。

平地から山地の林に生息しています。オレンジ色の体と黒と白のツートンカラーの頭がトレードマーク。



イソヒヨドリ

さえずり

ヒョチーチチビ
ツイチージジツ

地鳴き

ヒーヒー
ピッピツ



コゲラ

さえずり

なし。代わりにドラミングをする

地鳴き

ギイーギイー

海岸に生息する鳥でしたが、近年は人が活動している街中でも、姿を見るようになりました。

日本で一番小さいキツツキの仲間。嘴で樹木を叩く「ドラミング」で、縄張りの主張やメスへアピールします。



きれいな色の鳥がいたよ。図鑑で調べたらソウシチョウっていうみたい。どんな鳥かな？



ソウシチョウ

さえずり

ピイチヨイチ
ヨイチヨイ

地鳴き

ギジジ ギジ
ジ

ソウシチョウはもともと日本にいませんでしたが、江戸時代頃からペットとして外国から輸入され、飼育されていたものが逃げたり、放鳥されたりして、野外に広がったといわれています。もともと日本にいるウグイスやメジロ等の鳥には、ソウシチョウはエサや住処をめぐる競争相手になり、生態系に大きな影響を与える恐れがあります。

シジュウカラが言葉を話す？

動物言語学についてのお話



最新の研究※では、鳥の1種であるシジュウカラの鳴き声には、「さえずり」「地鳴き」だけではなく、群れの仲間たちとのコミュニケーションツールとして、発する鳴き声の一つ一つに意味があって、それらを組み合わせ、人間と同じように言葉として使用しているということがわかってきました。どういうときに言葉を使っているのでしょうか？



▲シジュウカラ お腹のネクタイマークが特徴。群れで行動します

群れの1羽が
外敵(タカ)を
みつける



ヒーヒーヒー!(タカだ!)

ジジジ!(警戒しろ)

群れの鳥たちはタカの接近に備えることができます



これまで人以外の動物は、鳴き声や身振り、体から発するフェロモン等のそれぞれ独自の方法でコミュニケーションをとって、人類だけが言葉を組み合わせ、意思の疎通を行う「言語」を使う、と考えられていました。

シジュウカラが「言語」を使うという発見によって、人間以外の動物も言語を用いていることがわかりました。シジュウカラ以外の様々な動物の言語を研究する学問である「動物言語学」の研究も進められています。人が飼育している動物や、自然界を優雅に泳ぐイルカやクジラ等の生き物も言語でコミュニケーションをとっているかもしれませんね。



▲会話を楽しむ親子



▲クジラの発する音

※2017年 鈴木俊貴 生態学研究センター 研究員の論文

[Wild Birds Use an Ordering Rule to Decode Novel Call Sequences] (文法を操るシジュウカラは初めて聞いた文章も正しく理解できる)

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村(なかむら)です。

自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL: 078-331-1146 FAX: 078-331-1148
竹野自然保護官事務所 TEL: 0796-47-0236 FAX: 0796-47-0249

